

いじめといのちについて考える日 校長講話

今日は「いじめといのちについて考える日」のお話をします。

大阪市の小学校・中学校では、5月の連休明けに「いじめといのちについて考える日」をつくることになっています。昨年度までは、「いじめについて考える日」という名前でしたが、「いじめはいのちを奪うことにつながるとも重大なことだ」ということを、もっとみんなでわかるべきとの考えで、今年度から「いじめといのちについて考える日」という名前になっています。姫島小学校だけではなく、大阪市のすべての学校で同じようにいじめといのちについて考えています。

では、「いじめといのち」について考えてみましょう。

まず、これまでに何度も繰り返ししてきた、「いじめ」についての3つの質問をしてみます。

1：どのようなことをするのが「いじめ」ですか？

---「人に嫌なことを言ったり、人に嫌なことをしたりして、攻撃すること」が「いじめ」だと、校長先生は考えています。

2：「いじめられている」自分を想像してください。どんな気持ちがしますか？

---すごく嫌な気持ちがすると思います。きっと学校に来たくなくなると思います。誰も助けてくれない気持ちがして、誰も信じられない気持ちがすると思います。「いじめ」は人をそういう気持ちにさせることだと知ってください。

3：「いじめ」は「してもよいこと」ですか、それとも、「してはいけないこと」ですか。

---「してもよい」と答える人はたぶん誰もいないはずです。「どのような理由があってもしてはいけないこと」だと校長先生は考えています。みんなにもそのように考えてほしいです。なぜなら、いじめはいのちを奪うことにつながるとも重大なことだからです。いのちを奪ってもよい理由なんてあるはずありません。

2学期・3学期の「いじめといのちについて考える日」でも同じ質問をするつもりですが、この3つの質問には、全員が迷うことなく答えられるようになってほしいです。

そのうえで校長先生の思いをさらにみなさんに伝えようと思います。

これまでに何度も繰り返してきたお願いですが、校長先生は、みなさんが「優しい子」でいてくれることを強く願っています。「優しい子」というのは、自分のことも周りの友達や家族のことと同じように大切にできる子です。とても素敵だと思います。姫島小学校のみなさんが「優しい子」でいてくれたら、姫島小学校で「いじめ」なんておきるはずありません。みんな「優しい子」でいてくださいね。

以上で校長先生の1学期「いじめといのちについて考える日」のお話を終わります。この後、担任の先生からのお話もしっかりきいてください。